



OPH-5000i

無線 LAN 内蔵 2次元ハンディターミナル

標準アプリケーションバッチモード

通信環境設定手順書



OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード通信環境設定手順書

第3版 2020年5月発行

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD.

All rights reserved.

株式会社オプトエレクトロニクス

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書は、無線 LAN 内蔵 2 次元ハンディターミナルの取り扱い方法について説明するものです。ご使用前によくお読みになり、正しく安全にお使いください。

ご注意

- ・ 本書の内容は、製品の仕様変更などにより予告無く変更される場合があります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、内容に納入仕様書との差異がある場合は、納入仕様書の内容を適用します。
- ・ 本書を印刷する場合は A4 用紙をご指定ください。

著作権について

- ・ 本書の内容はすべて著作権に保護されています。本書の一部または全部を事前の承諾無く、無断で複写、複製、翻訳、変更することは禁じられています。

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD. All rights reserved.

商標・登録商標について

- ・ 本書に記載されている会社名、商品名などは、それぞれ各社の登録商標および商標です。

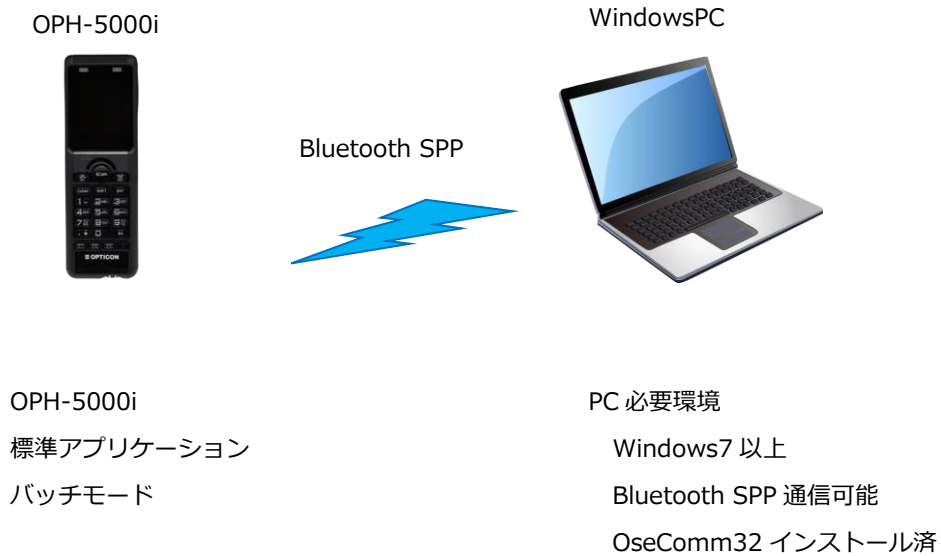
運用に関しては、事前に実機によるテストを十分行ってください。

目次

はじめに	ii
1 OPH-5000i 通信環境作成	1
2 セットアップ	2
2.1 PC 側	2
2.1.1 OseComm32 のインストール方法	2
2.1.2 OseComm32 の日本語表示方法	7
2.1.3 Bluetooth を使用する場合の設定方法	9
2.1.4 OseComm32 通信開始方法	13
2.2 OPH-5000i 側セットアップ	15
2.2.1 OPH-5000i の起動アプリケーション	15
3 通信事前準備	17
3.1 PC 側事前準備	17
3.1.1 シリアル通信による設定	17
3.2 OPH-5000i 側事前準備	18
3.2.1 OPH-5000i 側通信事前準備	18
4 通信実施	21
4.1 業務実施	21
4.1.1 入荷業務方法	21
4.1.2 OseComm 通信	23
5 サンプルバーコード	25
改版履歴	27

1 OPH-5000i 通信環境作成

通信環境は OPH-5000i で収集したデータを Bluetooth にて PC 側へ送信するための環境を構築する事を目的としています。



2 セットアップ

PC・OPH-5000iのセットアップ方法を説明します。

2.1 PC側

2.1.1 OseComm32のインストール方法

- ① 圧縮ファイル(SetupOseComm32.zip)を解凍してください。

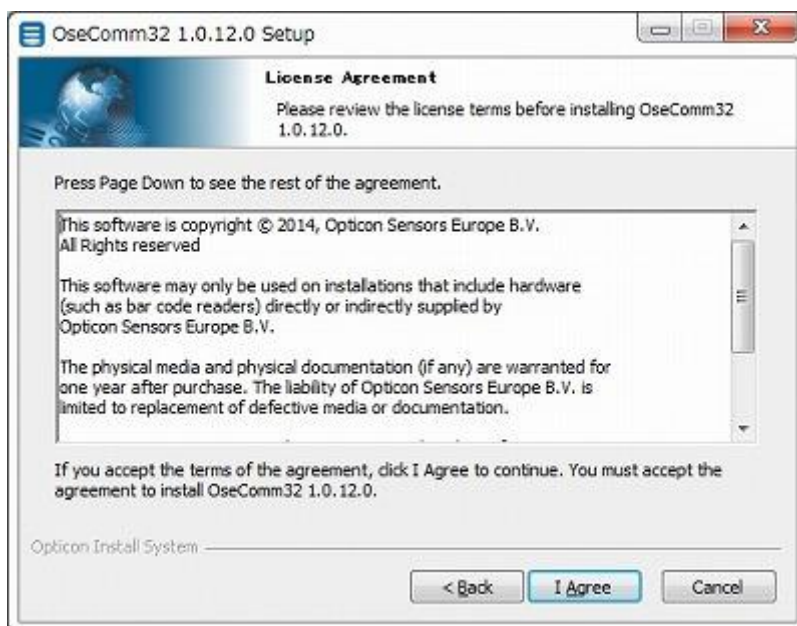
 SetupOseComm32.exe	2016/02/17 14:08	アプリケーション	1,198 KB
--	------------------	----------	----------

- ② 解凍した EXE ファイル(SetupOseComm32.exe)を実行してください。

- ③ インストーラが起動しますので「Next>」をクリックしてください。



- ④ ライセンスや注意事項が表示されます承諾する場合、「I Agree」をクリックしてください。

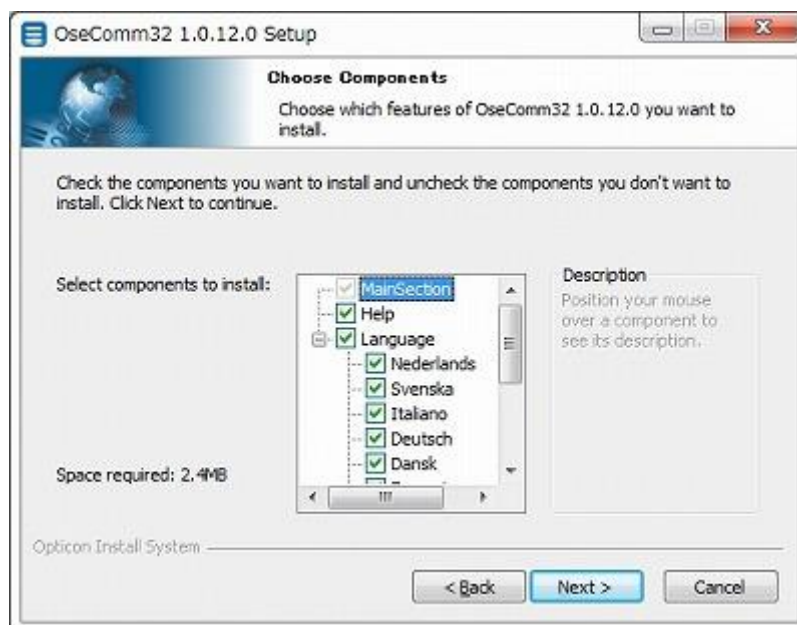


- ⑤ 「All users」をチェックしてから「Next>」をクリックしてください。



- ⑥ インストールコンポーネント選択が表示されます「Next>」をクリックしてください。

※不要な言語のチェックを外すと PC のディスク容量を節約できます。



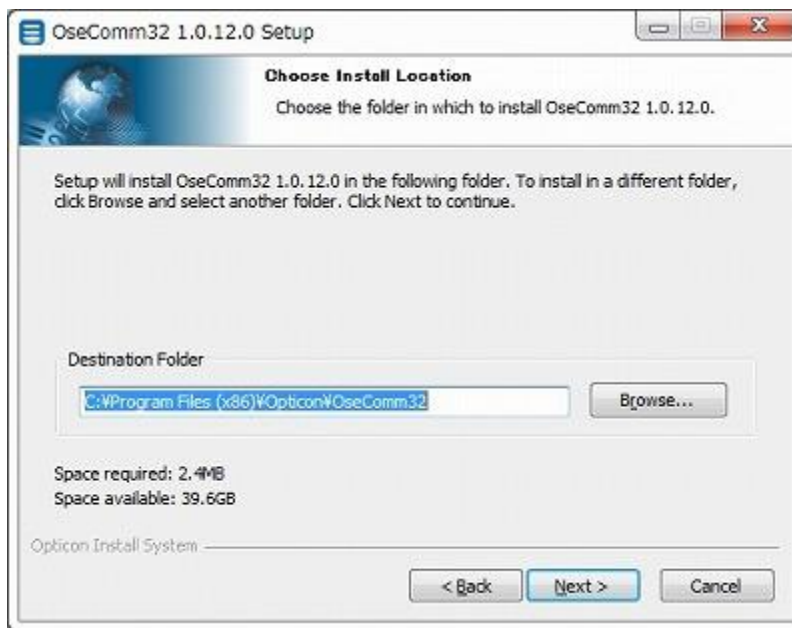
- ⑦ 言語選択が表示されます「Japanese」を選択して「Next>」をクリックしてください。

1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方は「English」を選択して「Next>」をクリックしてください。

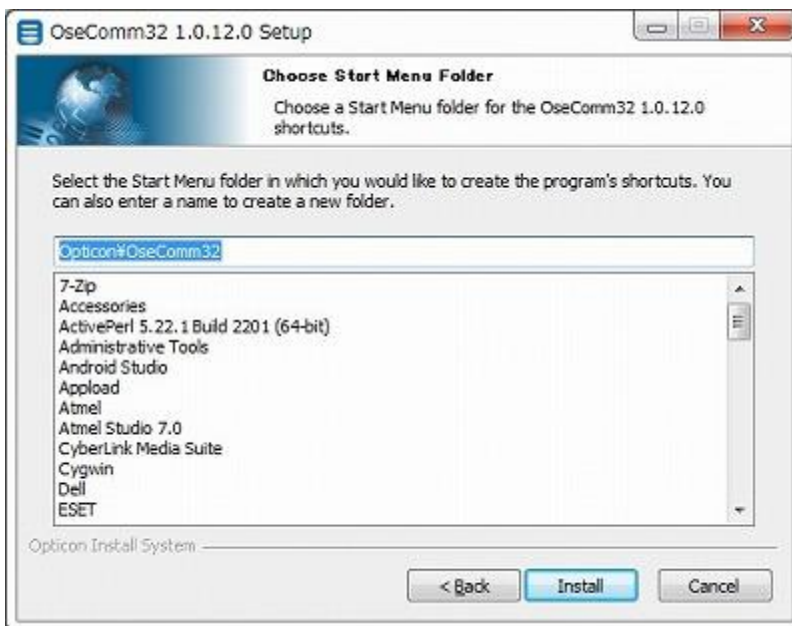
※1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方はインストール終了後、「2.1.2 の OseComm32 日本語表示化方法」の作業が必要です。



- ⑧ インストール場所を指定して「Next>」をクリックしてください。



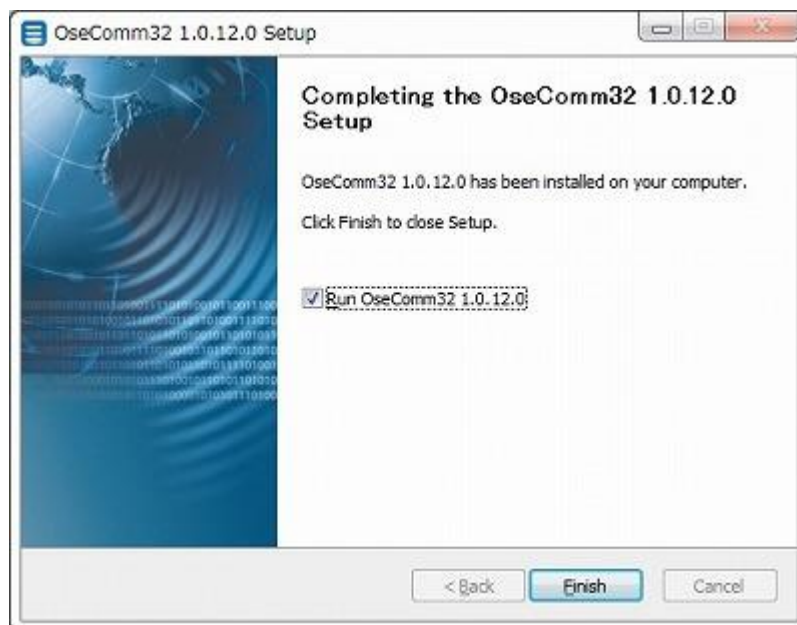
- ⑨ スタートメニューフォルダ選択が表示されます「Install」をクリックしてください。



- ⑩ ショートカットをデスクトップに作成する場合、「はい」をクリックしてください。



- ⑪ インストールが完了しました「Finish」をクリックすると OseComm32 が起動します。

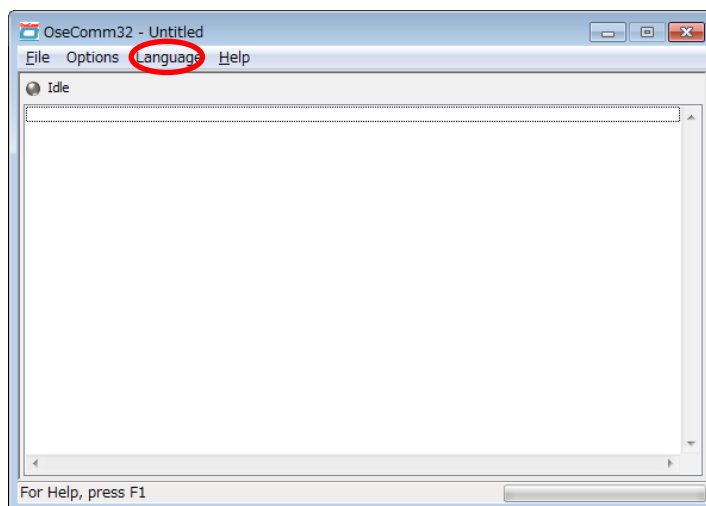


2.1.2 OseComm32 の日本語表示方法

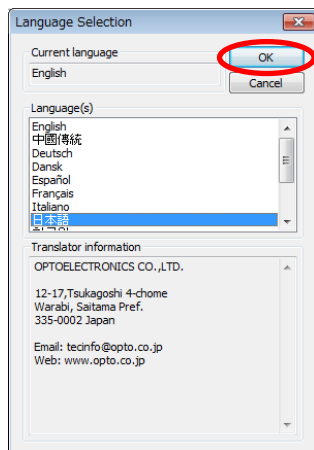
1.0.11.0 以前のバージョンをお使いの方は OseComm32 インストール時に日本語表示に対応していません。

下記手順を行う事で OseComm32 の日本語表示が可能になります。

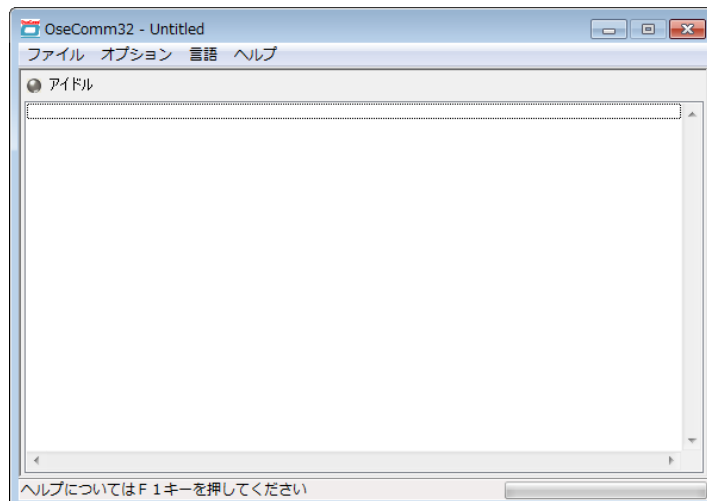
- ① OseComm32 の日本語フォントファイルを解凍します。
上記日本語フォント圧縮ファイル(OseCommLanguage_JP.zip)を解凍すると以下のファイルが作成されます
OseCommLanguage_JP.dll
- ② 解凍したフォントファイルを OseComm32 の Language フォルダにコピーします。
例) 「C:¥Program Files(x86)¥Opticon¥OseComm32¥Language」
※環境によってフォルダが変わることがありますのでご注意ください
- ③ 表示言語を日本語に変更します「Language」をクリックしてください。



- ④ 言語選択ダイアログが表示されます「Language(s)」より「日本語」を選択して「OK」をクリックしてください。



- ⑤ 日本語表示に変更されます。

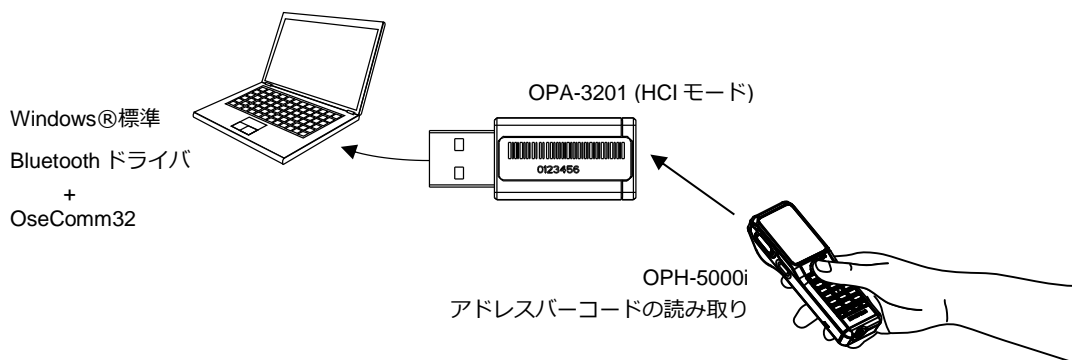


2.1.3 Bluetooth を使用する場合の設定方法

2.1.3.1 概要

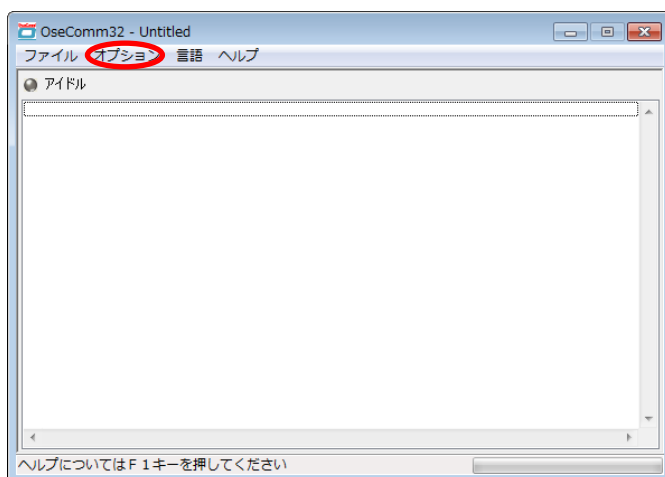
この章では OPH-5000i と OseComm32 を使用してデータ転送を行うまでの設定方法について説明しています。

Bluetooth の着信ポートの作成や設定は Windows® に標準搭載されている Bluetooth ドライバのご使用を前提にしていますので、サードパーティ製のドライバをお使いの場合にはそちらのドキュメントを参照して下さい。

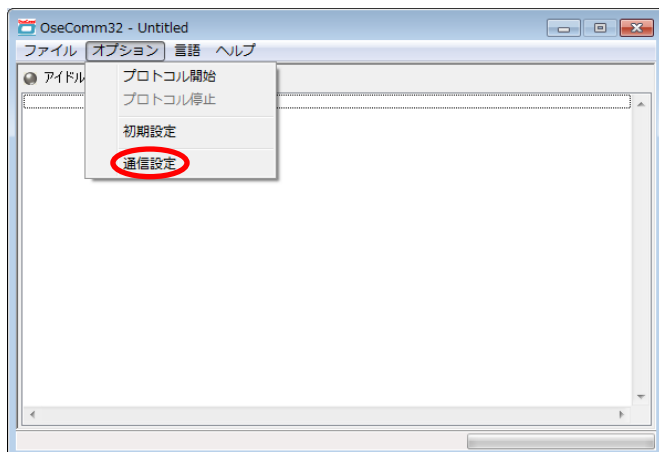


「OseComm32 の通信設定を行います。」

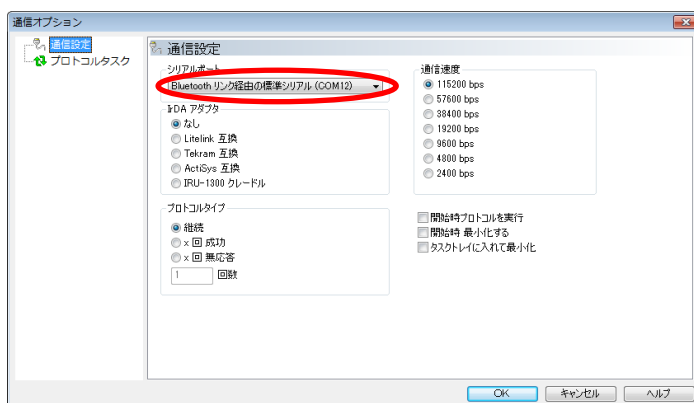
- ① メニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。



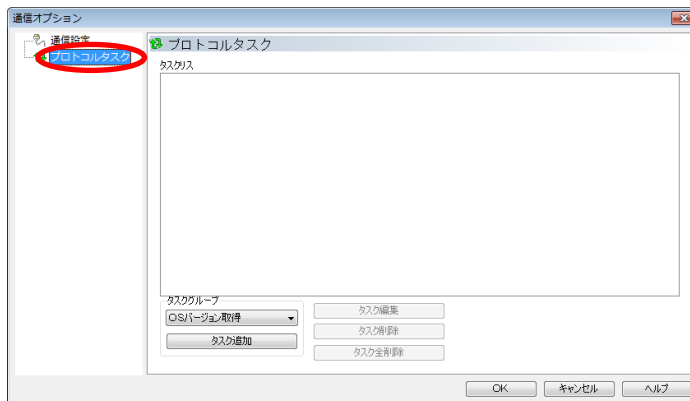
- ② ドロップダウンより「通信設定」をクリックしてください。



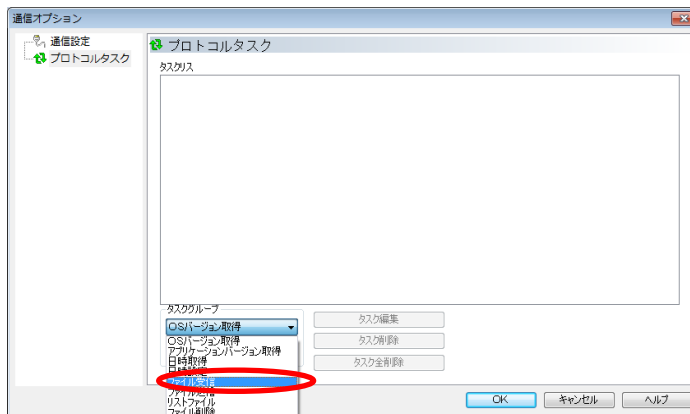
- ③ 通信オプション画面でシリアルポートを確認して Bluetooth 受信ポートを指定してください。



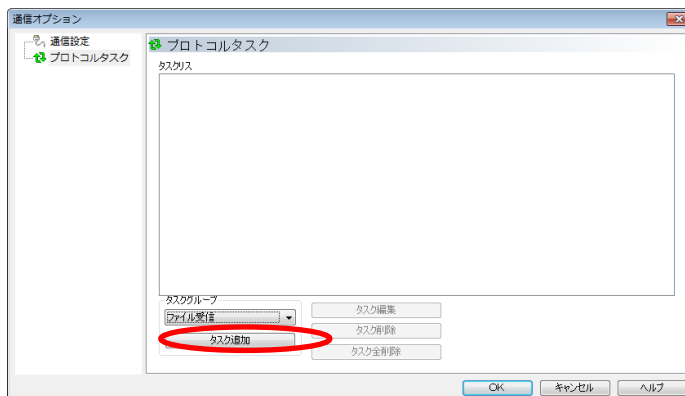
- ④ プロトコルタスク設定を行います「プロトコルタスク」をクリックしてください。



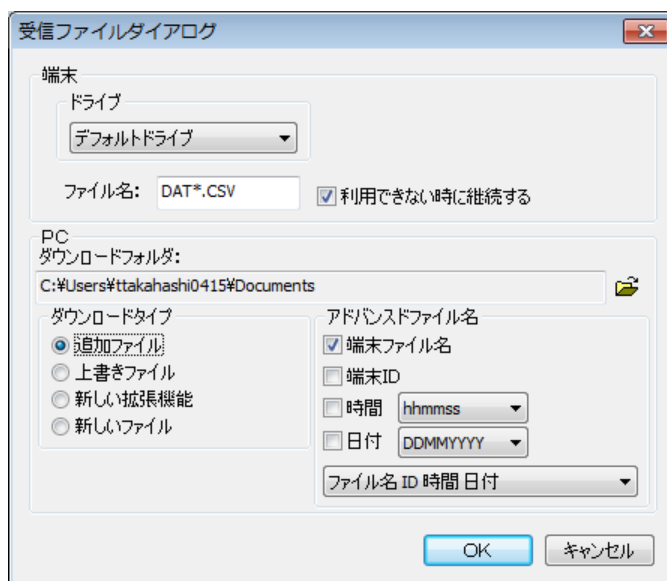
- ⑤ バッチモード通信用設定を行います「ファイル受信」をクリックしてください。



- ⑥ ファイル受信を行うタスクを追加したいので「タスク追加」をクリックしてください。



- ⑦ ファイル受信タスクの詳細設定を行います。設定完了したら「OK」をクリックしてください。



【各項目の設定値】

ファイル名 : DAT*.CSV と設定します。

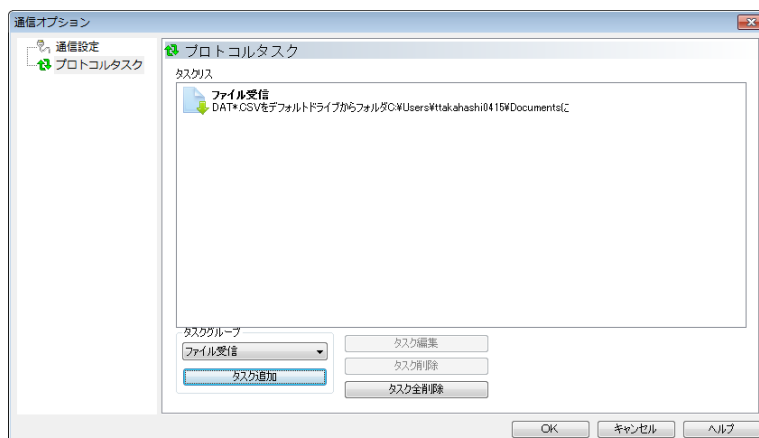
「利用できない時に継続する」にチェックをします。

ダウンロードフォルダ : 任意の保存場所を指定してください。

ダウンロードタイプ : 追加ファイル、または上書きファイルを選択してください。

アドバンスドファイル名 : ファイル名を変更したい場合は任意に設定してください。

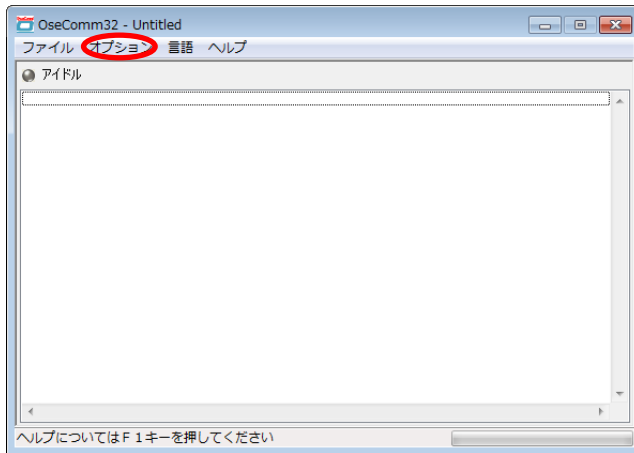
- ⑧ 設定したタスクがタスクリストに表示されます「OK」をクリックしてください。



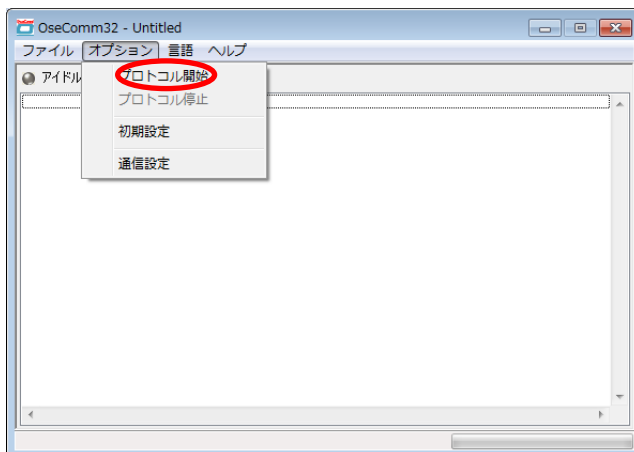
2.1.4 OseComm32 通信開始方法

OseComm32 を通信可能状態にします。

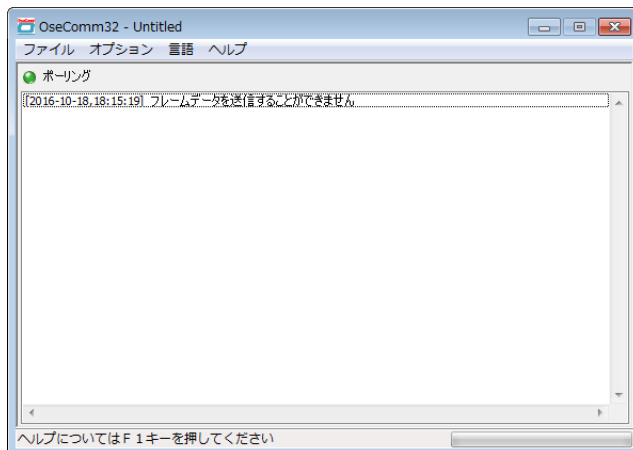
- ① OseComm32 を起動してメニューツールバーから「オプション」をクリックしてください。



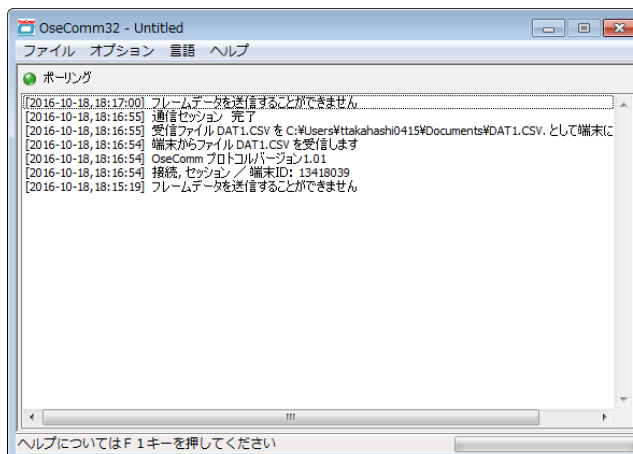
- ② ドロップダウンより「プロトコル開始」をクリックしてください。



- ③ ポーリングが開始され暫く経つと「フレームデータを送信することができません」とメッセージが表示されます。



- ④ OPH-5000i からデータを送信すると以下の様なメッセージと共にファイルを受信します。

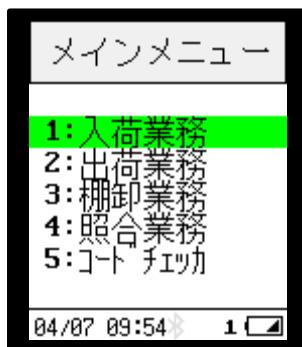


2.2 OPH-5000i 側セットアップ

2.2.1 OPH-5000i の起動アプリケーション

起動時のアプリケーションを設定します。

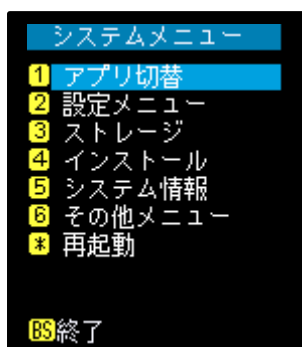
- ① OPH-5000i の初期状態は標準アプリが起動します。



ピッという音がなり左の画面が表示された場合
標準アプリが起動しております。

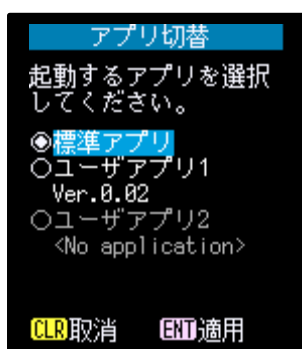
もし標準アプリが起動しない場合はシステムメニューを
起動して標準アプリが起動する様に設定を変更してくだ
さい。

- ② システムメニューを起動します。



アプリケーションの画面で[Q1]キーと[Q2]キーを同
時に2秒以上押し続けると、システムメニューが表
示されます。

- ③ システムメニューの「1 アプリ切替 → 標準アプリ」を選択します。



標準アプリを選択します。

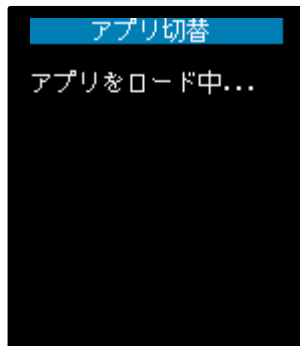
「ENT」キー：

選択が変更されているときは変更を適用し、システムメニューに戻ります。

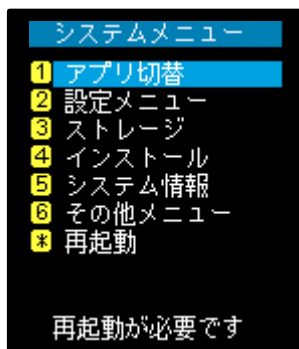
「CLEAR」キー：

変更を破棄し、システムメニューに戻ります。

- ④ [ENT]キーを確定するとアプリをロード中になります。



- ⑤ アプリをロードした後システムメニューに戻り、「*再起動」を選択し再起動をします。



[Q1]キー、[Q2]キーでカーソルを移動させ「*再起動」にきたら[SCAN]キーまたは[ENT]キーで決定します。
(テンキーの[*]を押下しても再起動が選択されます。)

- ⑥ OPH-5000i が再起動され標準アプリケーションが起動します。



3 通信事前準備

PC・OPH-5000i の通信前に事前準備手順を説明します。

3.1 PC 側事前準備

3.1.1 シリアル通信による設定

- ① OseComm32 の起動を行います。

OseComm32 をプロトコル開始してポーリング状態にしてください。

「2.1.4 OseComm32 通信開始方法」を参照してください。

データコレクタで使用している Bluetooth ドングルは BluetoothHID 専用となります。

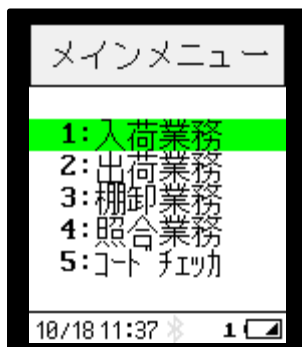
BluetoothSPP 通信が可能な Bluetooth ドングルを使用してください。

3.2 OPH-5000i 側事前準備

3.2.1 OPH-5000i 側通信事前準備

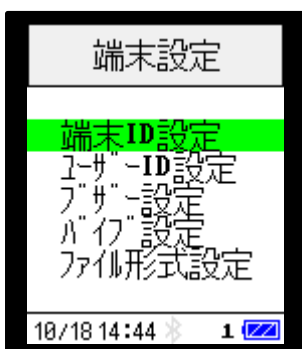
① PC 側とのペアリングを行います。

② OPH-5000i の電源を投入します。



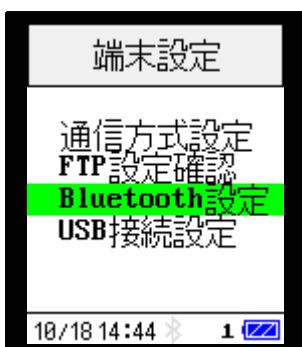
ピッという音が鳴り左の画面が表示されたら
[F1]キーを押下して端末設定メニューを起動して
ください。

③ 端末設定メニューを起動します。



[Q1]キー-[Q2]キー押下でカーソルを移動させ
「Bluetooth 設定」を選択してください。

④ Bluetooth 設定を選択します。



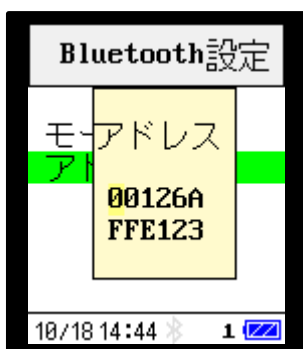
「Bluetooth 設定」にカーソルがきたら
[ENT]キーを押してください。

- ⑤ BD アドレスの設定を行います。



[Q1]キー[Q2]キー押下でカーソルを移動させ「アドレス」にきたら[ENT]キーを押下してください。

- ⑥ BD アドレスの設定を行います。



[スキャン]キーで BD アドレスのバーコードを読み取り設定を行います。

入力完了しましたら[ENT]キーを押して端末設定メニューに戻ります。

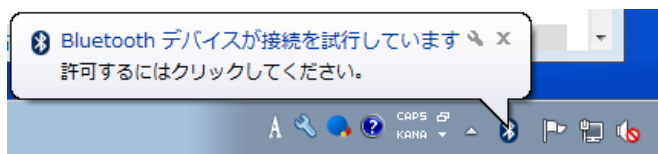
- ⑦ 通信の確認を行います。

「入荷業務方法」を参照してデータの入力した後

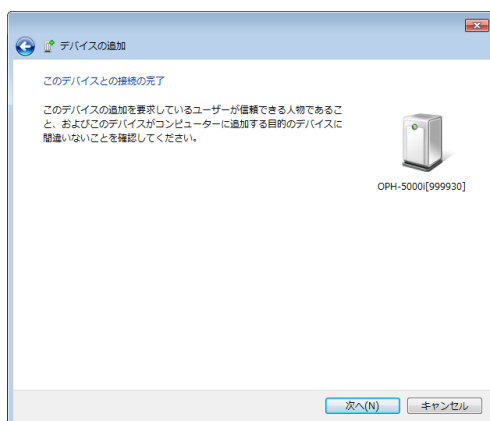
「Bluetooth 通信」を参照して通信を行ってください。

画面に送信中と表示されてペアリングが開始します。

- ⑧ 通信を開始すると PC 側からデバイス接続の確認を要求してきます。
吹出しをクリックしてください。



- ⑨ デバイスの追加ダイアログが表示されます「次へ」をクリックしてください。



- ⑩ デバイスの追加が完了しました「閉じる」をクリックして終了してください。



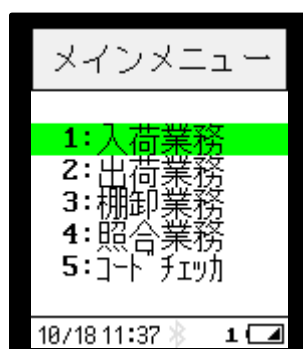
4 通信実施

OPH-5000i の入荷業務を参考にデータ通信手順を説明します。

4.1 業務実施

4.1.1 入荷業務方法

- ① OPH-5000i の電源を投入し入荷業務を選択します。



[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。

「入荷業務」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に移行します。

(テンキーから[1]キー押下しても移行します)

- ② 商品コードを入力します



[SCAN]キーにてバーコードを読取ります。

読み取り後自動的に数量入力に移行します。

- ③ 数量を入力します。



[テンキー]にて数量を入力します。
数量入力後[ENT]キーで確定します。

- ④ 入力データが登録され件数がカウントアップされます。



右上の件数がカウントアップして商品コード入力に移行
します。
あとは②～③を繰り返すとデータを登録していきます。
終了する場合は[CLEAR]キーを押してください。

4.1.2 OseComm 通信

- ① OPH-5000i のメインメニューから「7:OseComm 通信」を選択します。

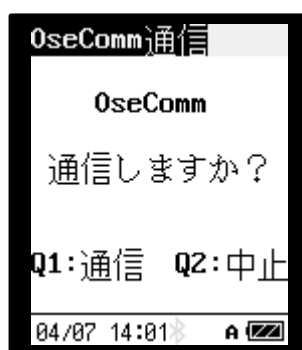


[Q1]キーまたは[Q2]キーでカーソルを移動させます。

「7:OseComm 通信」にカーソルがきたら[ENT]キーで業務に移行します。

(テンキーから[7]キー押下しても移行します。)

- ② OseComm 通信の確認が行われるので開始します。



[Q1]キーにて OseComm 通信を開始します。

[Q2]キーにて②に戻ります。

- ③ OseComm 通信が開始されます。



Bluetooth で OseComm 接続を開始します。

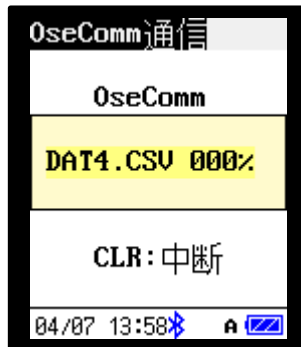
- ④ OseComm 通信中の画面が表示されます。



OseComm 通信を行っています。

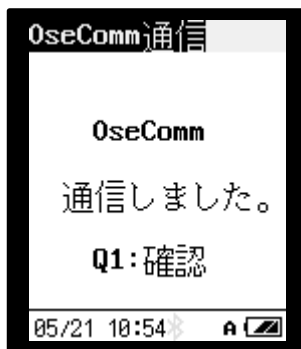
[CLEAR]キーにて中断が可能です。

- ⑤ OseComm 通信中の進捗状況画面が表示されます。



OseComm 通信を行っています。
[CLEAR]キーにて中断が可能です。

- ⑥ OseComm 通信が正常終了したら完了です。



[Q1]キーを押すとメインメニューに戻ります。

5 サンプルバーコード

取引先コード



棚番コード





ハンドヘルド CCD タッチ式スキャナ
C-40



ハンドヘルド CCD スキャナ
C-41



ハンズフリー
オムニディレクショナル
イメージスキャナ M-10



Bluetooth 搭載
超コンパクトサイズ
データコレクタ OPN-4000



Bluetooth 搭載
超コンパクトサイズ
データコレクタ OPN-3002



改版履歴

Doc ID: TS17009

製品名: OPH-5000i

版数	日付	変更箇所	変更内容
初版	2017/02/09	-	(初版発行)
第2版	2017/12/05	2.2.1 2.1.3.1	OPN モードの削除 概要の追加
第3版	2020/05/28	2.2.1 4.1.2	OPH-5000i の起動アプリケーションの修正 OseComm 通信の追加

OPH-5000i

標準アプリケーションバッチモード通信環境設定手順書

第3版 2020年5月発行

株式会社オプトエレクトロニクス

本社 〒335-0002
埼玉県蕨市塚越 4-12-17
TEL 048-446-1183
FAX 048-446-1184
E-mail sales@opto.co.jp
URL <http://www.opto.co.jp/>

Copyright (C) 2017 OPTOELECTRONICS CO., LTD.

All rights reserved.

 **OPTICON**